

がん情報サロンボード

2019/01/07

がん情報サロン 富田 明人

新年あけましておめでとうございます

新年あけましておめでとうございます。皆様にはすがすがしい新年をお迎えになったことと存じます。

今年の干支は「亥年」スタートダッシュが切れると思いましたが、3日の午後に熊本で震度6の地震が発生しました。幸い被害は少なかったようですが正月の帰省ラッシュで新幹線が止まり交通機関も乱れたようです。

4日の東証大発会の東京株式市場では、前日の米国株の急落から終値は昨年末の終値より452円安の19,561円となり大発会で前年末の終値を下回ったのは3年ぶりとの事で経済の先行きの不透明感が強まりました。

我が家の正月はお屠蘇をいただき、豆雑煮で祝うのが仕来たりです。以前は母親が前日の夜から小豆を煮て作ってくれましたが、今日はその術もなくスーパーから買って来たゆであずきで代用しています。

初詣は出雲の国一の宮として知られる熊野大社に参拝しました。神社は我が家から南に約15km松江から大東に通ずる途中にあり当日は天気もよく車の渋滞もなく到着しました。市街地より標高が高く屋根の上や道端に白い雪が残り肌寒さを感じました。

神社の前には清らかな意宇川が流れ、お参りには朱塗りの八雲橋をわたり参拝するようになっています。

祭神は、素戔鳴尊（すさのおのみこと）人々の“むすびの”神であり、蘇生復活の神でもあります。

境内には様々な社殿がありますが、毎年神事を行う為の火を採火する鑽火祭（さんかさい）や出雲大社宮司（出雲国造）の襲職時の火継式斎行の大切な社殿があります。

天気の良いこともあり、参詣者は多く橋の手前から拝殿まで 200 メーターの列、拝殿までの待ち時間は 40 分を要した例年に無いことでした。

例年ならお神酒に列ができますが、今年はお神酒をいただく人も少なく巫女さんも手持無沙汰の様子でした。破魔矢も参詣者の 30 人に一人程度のお買い上げで、年寄りの方が多く若者には見当たらなかった。景気が悪いのかトレンドが変わったのか？

門前の屋台にも人だかりは少なく今年も厳しい年となりそうですね。

今年のがん医療のターニング・ポイントなるかもしれません。昨年末には大きなトピックスが 2 個ありました。

一つはノーベル生理学・医学賞に京都大学 本庶 佑博士の研究でこれまでと全く異なるタイプの第 4 の免疫治療法（免疫システムのブレーキに関する）が開発されたことです。

もう一つ厚生労働省は、欧米に比べ立ち後れている「がんゲノム医療」体制を早急に整備することに着手しました。その拠点として北海道大学病院、国立がんセンター中央病院、慶應義塾大学病院、九州大学病院など全国の 11 か所のがんゲノム医療中核拠点病院とこれをサポートするがんゲノム医療連携病院 100 カ所を選定した。山陰では鳥取大学医学部附属病院、鳥取県立中央病院の 2 病院、島根県は島根大学医学部附属病院が選定されました。

これを受けて各都道府県はこの事業を計画的に推進するために早急な基盤の整備の取組が求められる。

医療の格差は各病院、地域とも急速に広がっている。がんを支える基盤整備、関係者等の連帯協力のさらなる強化、目標の達成状況の把握、予算の効率化、重点化など再検討が必要かと考えます。

(富田)